自立活動だより

自立活動部　Ｒ４年１２月　第３号

中津支援学校に通う児童生徒が使用している
主な身体器具の基礎知識について紹介します。

プロンボード

～プロンボードを含む立位保持装置には様々な種類があります～

プロンボード(立位台)

「プローン」
＝腹臥位という
意味で、腹臥位
から姿勢を起こ
し、起立する保
持装置のこと

スーパーインボード

スタンディングフレーム

【使用の目的】

〇変形や拘縮の予防、骨(関節)の発育を促進する…立位で身体を保持し、角度を徐々に垂直に近づけながら骨格に体重をかけることで、正常な発育を促すことができる。股関節、膝関節、足関節を伸ばして立つことで、筋のストレッチ効果を得ることができる。
〇抗重力活動を促す…膝、骨盤、体幹にパッドによるサポートを与えることで姿勢が安定し、重力に抗した運動が行いやすくなる。

【使用方法】
③胸ベルトを付ける

②骨盤ベルトを付ける

①足の位置を合わせる
(降りる際は③②①の順)

安全のため、必ずプロンボードを壁に付けて装着する。

注意点!～姿勢のチェックポイント～
・足底が床に全部付いているか
・股関節、膝関節は伸展しているか
・股関節を伸展させた状態で骨盤ベルトを装着することができているか
・後方から見た時に、足が「X」や「O」の形になっていないか(交差していないか、垂直に体重が乗せられているかを見る)

★大切なこと★
仰臥位や座位姿勢でいることの多い児童生徒にとって、立位姿勢の持続的な保持は、下肢に負荷のかかる活動であるため、使用に当たっては目的や時間等を明確にして取り組みましょう。

参考・パシフィックサプライ株式会社「総合カタログ Vol.12」
・補装具やリハビリ器具の基礎知識　大阪整肢学院リハビリテーション部　校内研修会資料

◆プロンボード実践例◆
経過(1年)
小学部Ｂさん(認知：８か月程度　使用頻度：週４回３０分間)
プロンボードの使用に至った経緯としては、日常的に座位保持椅子に座っていることが多く、膝や股関節が伸びにくくなってきているという様子があったため、膝や股関節を伸ばして立ち自分の体重を支えることで、筋力の低下(特に膝裏)を防ぐことをねらいとして取り組んだ。1年間の取り組みを経て、下肢の筋力が付いてきたこと等から、介助歩行の中で膝を伸ばし、自分の体重を支持する力が強くなってきた。今回は、朝の会の授業時間に行ったが、今後は、手の操作性の向上もねらいに取り入れ、他の授業の中での活用も考えている。